

第22回「森林は友達！作文コンクール」表彰式

関東森林管理局東京事務所

平成31年3月8日、都内のホテルにおいて「第22回森林は友達！作文コンクール」の表彰式が行われました。この作文コンクールは、関東森林管理局東京事務所管内の森林管理署等や、高尾森林ふれあい推進センターが行った森林教室や体験林業等に参加した小学4～6年生を対象に、体験を通じて感じたこと、思ったこと、学んだことを、作文にすることによって森林・林業に対する理解や関心を、より一層深めてもらうこ



受賞作品を朗読する高見恵花さん



受賞者と保護者の皆様、審査員と

とを目的として、森林作文コンクール実行委員会（一般社団法人東京林業土木協会と関東森林管理局東京事務所で構成）が毎年度行っているものです。22回目となる今回は、小学校21校の参加で、過去最多の1920名の応募がありました。最優秀賞の林野庁長官賞には、高見恵花さん（横浜市立立本小学校六年生）の「森林と水と人間」が受賞したほか、優秀賞11名、努力賞18名が受賞し、副賞に協会から箱根寄木細工の箱が贈られました。また協賛していただいているもりかみ協議会（森を育む紙製飲料容器普及協議会）から間伐材を利用したカート缶のお茶が配られました。子供達の森林や自然に対する素直な感性に触れ、驚きと感動と共に、この仕事に携わるものとして励ま



自ら作った資料をもとに木についてのお話する寺川事務所長

される作品が多数でした。この作文コンクールは、次代を担う子供たちに森林・林業の大切な役割について体験学習の機会を提供するため、今後も続けていくこととしています。

